

JAWRO 企画講演座長報告

京都大学医学部附属病院 放射線治療科 宇藤恵

この度、2020年10月1日に日本放射線腫瘍学会第33回学術大会においてJAWRO企画講演の座長を、聖路加国際病院 放射線腫瘍科 中島直美先生と共に務めさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症を考慮し、日本放射線腫瘍学会第33回学術大会はウェブ上での開催となりました。本講演もオンライン開催となり、自宅や勤務地から聴講することが可能となり、オンラインならではのメリットも大きかったのではないかと感じました。

今回は法政大学キャリアデザイン学部教授・一般社団法人プロティアン・キャリア協会代表理事の田中研之輔先生に「ウィズコロナ時代に求められるプロティアン・キャリアとは？ 内的キャリアと真理の追求」についてご講演いただきました。田中先生のご専門はキャリア論、組織論であり、社外取締役・社外顧問を19社歴任され、メディアでも広く活躍されている大変ご高名な先生です。

ご講演ではプロティアン・キャリア論、プロティアン戦略、キャリア資本、戦略的思考・蓄積を中心にお話していただきました。キーワードとなるプロティアンという言葉は、ギリシャ神話における変幻自在に姿をかえる神 プロテウスに由来し、社会や環境の変化に柔軟に対応することができるキャリアをプロティアン・キャリアといいます。プロティアン・キャリアとは、キャリアを組織に預けるのではなく、自分自身で戦略的に形成するキャリアであり、成長し続けるためにはキャリア資本の分析・可視化・蓄積が重要となります。これらは医師・研究者としてのキャリア形成だけでなく、一個人としての成長にもつながる素晴らしい考え方だと感じました。このプロティアン・キャリアという考え方は医療の現場ではなかなか触れる機会が少なく、多くの参加者にとって大きな学びとなったのではないかと思います。質問に対しても熱くお答えいただき、参加者の心に残る大変素晴らしいご講演でした。教えていただいたことを実践するだけでなく、周囲の方々にも伝えていけたら、と考えております。ご講演いただきました田中先生に厚く御礼申し上げます。

また、オンラインにて本講演を実現していただきました日本放射線腫瘍学会第33回学術大会大会長の白土博樹先生、副大会長の青山英史先生、清水伸一先生、JAWRO会長の内田伸恵先生、またご協力いただきましたJAWROの皆様にご心より感謝申し上げます。